

学校教育係

言語活動の充実②

管内の学校では、各教科等の目標の実現のために、考えを書かせたり、意見を交流させたりするなど、言語活動の充実を図る様々な取組がなされています。しかし、「自分なりの考えがもてない。」「意見交換により考えが深められない。」といった声も聞かれます。そこで、『言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて【小学校版・中学校版】』（文部科学省）第2章(1)イ(i)を参考にした授業例を紹介します。



<授業者>

生徒に、自分なりの考えをもたせたり、意見交換で考えを深めさせたりするには、どのようにすればよいのでしょうか？

それには、次のことが大切です!! <『言語活動の充実に関する指導事例集』第2章参照>
①事実等を知識や経験と結びつけて解釈させ、自分の考えをもてるようにする
②意見と根拠、原因と結果などの関係を意識させ、それを明示して説明させる
③自分の考えと他者の考えの違いを捉え、異なる視点から検討したり、振り返ったりさせる



<先輩教師>

<< 本時のねらい >>

< 中学校: 社会科歴史的分野 (新学習指導要領内容「(3)中世の日本」・イ >

中世の文化の特色を、代表的な建造物や絵画などをもとに、古代との比較を通して考えることができる。

<個人で追究する場面>



中世の文化について、みなさんが調べたことをもとに、古代の文化との共通点や相違点などに着目しながら、中世の文化の特色について考えてみましょう。 <前記①の利用>



古代の有名な建物を建てたのは天皇や貴族だったけど、金閣や銀閣は武士だわ。きっと、武士が政治を行うようになったからだわ。



古代は寝殿造が有名だったけど、中世には書院造がでてきたね。禅宗などの新しい仏教の広まりと関係がありそうだぞ。

<意見交換の場面>

多面的・多角的な見方や考え方ができる、この時代の代表的な事例を提示し、みんなで意見を出し合いながら、考えが深められるようにしてみよう。



みなさんが考えたことを、この時代を代表する金閣・銀閣を例にしながら意見交換してみましょう。
<前記③の利用>



金閣・銀閣を建てた人から考えて、中世の文化の特色は、武士を中心とする文化ということだと思います。



金閣・銀閣のつくりから見て、禅宗の影響が特色だと思います。

もう少し詳しく理由を聞かせてください。

<前記②の利用>



金閣・銀閣は、室町幕府の将軍が建てたものです。中世には、武士が政治を行うくらい力を持ちました。そのため、この頃の多くの文化が武士とのかかわりの中で生まれているからです。

金閣のつくりや銀閣の書院造は、禅宗の建築様式を取り入れています。また、水墨画や茶の湯などの中世を代表する文化の多くも、禅宗の影響を受けているからです。

なるほど!!



そうか!!



中世の文化の特色は、武士が中心だということです。また、禅宗の影響を受けているということも挙げられます。さらに、茶の湯などの現代につながる文化が生まれたことも、特色と言えます。

* 各教科等において『言語活動の充実に関する指導事例集』等を活用し、目標の実現に向け言語活動の充実をより一層図っていただければと思います。